

令和2年4月3日

保護者様

大東市教育委員会

新型コロナウイルス感染症に係る4月8日以降の全校園臨時休業措置について

平素は、本市教育活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

標記について、4月2日、大阪府教育委員会より学校再開に向けた今後の方向性について要請がありました。

つきましては、新型コロナウイルス感染症に係る全国的な状況及び大阪府下が「感染拡大警戒地域」であること踏まえ、本市として、子どもたちの命、安全を第一に考え市内全幼・小・中学校園に対して、下記の対応をいたします。

引き続き、新型コロナウイルス感染症を理由としたものはもとより、差別や偏見、いじめは決して許されるものではありません。正しい知識や情報をもとに、冷静に行動することが大切です。

保護者の皆様におかれましては、今回の措置につきまして、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。5月以降の学校再開に向けてできる限りの取組みを進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の対応については、日々状況が変化しているため、今後も文部科学省及び大阪府教育庁より、必要に応じて最新の情報や追加的な留意事項の提供あるいは再度の要請等の可能性もあり、対応を変更することもあります。

なお、臨時休業期間中の生活面あるいは学習面等については、文部科学省及び大阪府教育委員会よりの情報と併せて、市独自の施策につきましても、今後随時提供していく予定です。

記

1. 臨時休業期間 令和2年4月8日(水) ～ 5月6日(水)

※期間の終了については、今後変更の可能性もあります。

- ・学校園の実状に応じて、3つの条件（「換気が悪い」「多くの人が密集」「近距離での会話や発声、高唱」）が重なる場を避けるなど、感染予防策を講じたうえで、分散登校等により、週1～2回登校日（給食はありません。）を設けることとしています。
- ・中学校部活動は期間中、中止とします。

2. 対象 市内全校園園児・児童・生徒

3. 留意事項

(1) 臨時休業中の家庭での過ごし方について

○上記期間の園児・児童・生徒の動静は各家庭の事情によるところでありますが、不要不急の外

- 出を控えるようにしてください。また、帰宅した際は、手洗いうがいの励行をお願いします。
- 毎朝の検温や、例えば、「健康観察カード」を活用するなど、健康管理を意識できるようにしてください。
- 家庭での学習については、これまでの学校からの教材やウェブサイト等の他、学校配付の課題、を活用するなど、自学自習を行うようにしてください。なお、今後、市の施策として各家庭に対しての学習課題を提供することを検討しています。
- ※感染及び濃厚接触が確認された場合は、必ず学校園へ報告してください。

## (2) 臨時休業中及び当面の学校園行事等について

- 入学（園）式は、これまで「実施する」としておりましたが、本市における感染者状況を鑑み、延期します。幼稚園・小学校においては、学校園再開以降において、学校園ごとに日時を設定し、実施します。中学校においては、学校再開以降において、入学式を行うかについては、今後検討します。実施の際には、時間短縮に向けて工夫するとともに、新入生・新入生保護者・教職員のみで行うこととし、最小限の規模で実施します。また、可能な限り園児・児童・生徒間の間隔を設けます。式終了後、教室内で保護者の皆様が参観することで教室内の人の密度が高くなることのないよう、例えば、廊下・教室の窓を開けて換気のうえ、廊下からの参観を求めるなど工夫を講じます。

※実施に際しては、こまめな換気や可能な範囲でアルコール消毒液を設置する等、感染予防の措置を講じます。

※登校（園）前には家庭において検温をお願いします。風邪の症状や発熱がある場合、あるいは強いだるさや息苦しさがある場合は、無理に登校（園）しないようにしてください。

- 始業式は、実施します。式のあり方については、全体あるいは学年ごとに行うなど、学校ごと柔軟に判断して実施することができるとしています。実施に際しては、こまめな換気や可能な範囲でアルコール消毒液を設置する等、感染予防の措置を講じます。また、体育館で実施の際は、児童・生徒間の間隔を設けます。また、間隔確保及び人の密度を考慮した運動場での実施や、各教室での校内放送活用などの工夫を講じます。

※登校（園）前には家庭において検温をお願いします。風邪の症状や発熱がある場合、あるいは強いだるさや息苦しさがある場合は、無理に登校（園）しないようにしてください。

## 4. その他

臨時休業中の各種対応については、今後の情報等をふまえ、随時、学校園へ通知します。その際は、ホームページや一斉連絡メール、あるいは各家庭への配付物のポストイン、個別に電話を活用する等により家庭へ連絡します。感染拡大を考慮し、家庭訪問は極力控えるようにします。